

報道関係各位

プレスリリース

2026年4月2日

株式会社インテージテクノスフィア

SaaS型EPPV進捗管理システムサービスを提供開始

拡大する新薬上市を支える新サービスの試験導入ユーザー募集を開始

株式会社インテージテクノスフィア（所在地：東京都西東京市、取締役社長（代表取締役） 酒井 和子）は、医薬品市販直後調査（EPPV：Early Post-marketing Phase Vigilance）に特化したSaaS型「EPPV進捗管理システム」を開発しました。今後の試験導入の開始に当たり、製薬企業を対象にユーザーを募集します。

■ 開発背景

EPPVは、新薬上市直後に製薬企業へ義務づけられた安全性調査であり、国内の薬事制度において重要なものと位置付けられています（資料1参照）。近年、新有効成分を含む医薬品の承認件数が増加しており（資料2参照）、市販直後の安全性監視に対する関心が高まっています。こうした背景を踏まえ、SaaSとして利用可能なEPPV進捗管理システムの提供を開始します。

■ 新サービスの特長

- 当社従来の顧客別に構築するものとは異なり、機能が予め完備されたSaaS型サービス
- EPPV専用で単独利用が可能^{※1}
- 調査期間に応じて短期契約が可能
- EPPVに必要な進捗管理機能を標準搭載

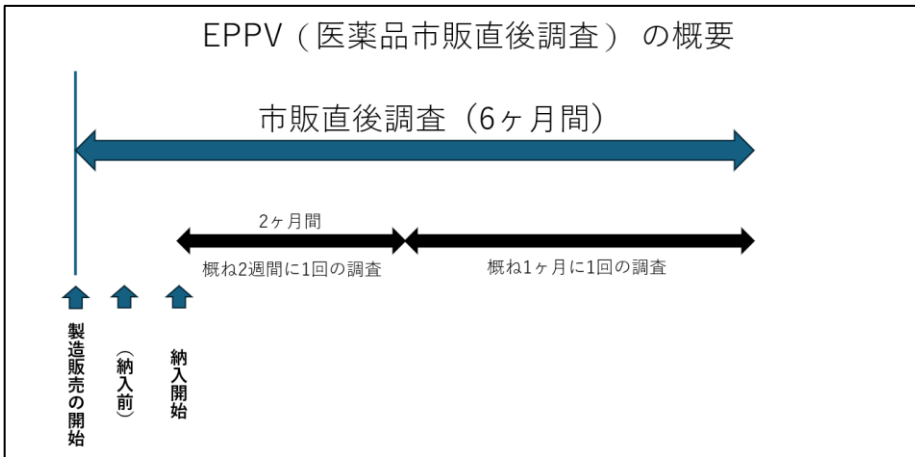
※1：日報システムなど他のシステムに依存しない単独での導入が可能

■ 今後の展開

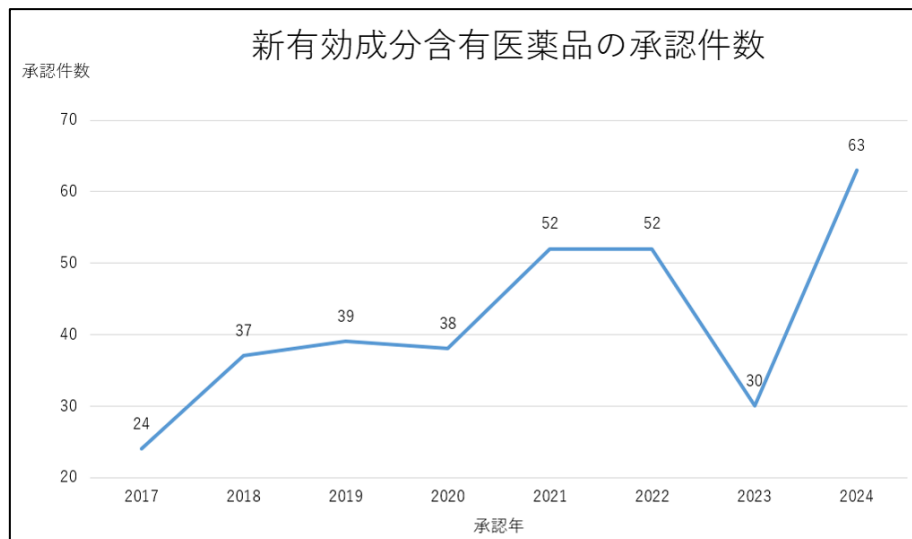
東京ビッグサイトで4月21～23日（10:00～17:00）に開催される「ファーマIT&デジタルヘルス エキスポ 2026」（主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社）に出展。来場者に画面イメージをご覧ください。

その後、試験導入ユーザーを募り、PoC（試験導入での実証）を実施します。

■ 資料 1 : EPPV (医薬品市販直後調査) の概要



■ 資料 2 : 新有効成分含有医薬品の承認件数推移



出典：医薬産業政策研究所作成「日米欧の新薬承認状況の比較（2024年）」に掲載の資料より当社で作成

https://www.jpma.or.jp/opir/news/076/c11jr00000069h-att/76_1.pdf

【株式会社インテージテクノスフィアについて】 <https://www.intage-technosphere.co.jp/>

インテージテクノスフィアは、マーケティングリサーチ業界を牽引するインテージグループにおいて IT 事業を担う会社であり、「データに魂を吹き込み、世の中を感動させる Intelligence Integrity Impression」をビジョンとして掲げています。

AI(人工知能)のビジネス適用、ソフトウェア開発・販売、データベースやデータウェアハウス(DWH)の構築支援、各種システム構築・運用による業務プロセスの改善支援、データセンター運用・保守サービスなどを展開し、お客さま企業のデータ活用や DX 化を支えています。

【インテージグループについて】 <https://www.intageholdings.co.jp/>

(東証プライム市場 証券コード：4326)

インテージグループは1960年の創業以来、さまざまなデータを収集・加工・分析し、当グループならではのインサイトを加えてお客さまに提供。その意思決定を支援してきました。お客さまのパートナーとして「問い」に寄り添い、生活者理解とテクノロジーを融合させて「次の一手」を導きます。

【広報に関するお問い合わせ先】

株式会社インテージテクノスフィア 経営企画部 広報担当

pr-itsp@intage.com

<https://www.intage-technosphere.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテージテクノスフィア エンタープライズ第1本部

システム営業担当

hctech-sales@intage.com